直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ：次回配信日は2026年11月26日(木)となります

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

≪牛乳類合計は2週連続、発酵乳容量合計は22週ぶりに前年割れ≫

【牛乳類の販売動向】

●11/9週の牛乳類4品目トータルの販売個数は、前年同週比が98.2%と2週連続で前年水準を下回った。内訳を見ると、牛乳単体では前年同週比が99.9%と5週ぶりに前年水準を下回った。成分調整牛乳(88.4%)は96週連続、加工乳(84.2%)は88週連続で前年水準を下回り、いずれも3週連続で90%を割り込んだ。乳飲料(95.1%)は、23週連続で前年水準を下回り前週から減少率が拡大したものの8週連続で90%台を堅持した。

●地域別に見ると、北陸が8週連続、近畿が5週連続で前年水準を上回った一方、京浜が5週ぶりに下回ったほか、その他の地域も前年割れとなった。また、牛乳単体では、北陸・近畿に加えて北海道、信越、四国でも前年水準を上回った。

●晴天に伴い放射冷却が強まったことで全国的に朝晩の冷え込みが目立ち、東京都心では9日から5日連続で最低気温が10℃を下回った。こうした低温が飲用消費を押し下げたと推察される。また、19日から21日にかけては冬型の気圧配置が強まり、さらなる冷え込みが予想されるため気温の低下が消費に与える影響を注視する必要がある。

【発酵乳の販売動向】

●発酵乳の販売個数は、ドリンクタイプは4週連続で前年水準を下回り、42週ぶりに90%を割り込んだ。前年同週は、インフルエンザの流行などに伴い販売個数が伸長していたものの、今年は弱含みで推移している。また、個食タイプは2週連続で前年水準を下回った一方、大容量タイプは47週連続で前年水準を上回り好調を維持している。この結果、ドリンクタイプの減少による影響が大きく、3品目の合計販売個数は2週連続、合計販売容量は22週ぶりに前年水準を下回った。

【家庭用バターの販売動向】

●家庭用バターの販売個数は2週連続で減少し、21週ぶりに前年水準を下回った。

≪参考≫業界一体的な需要拡大活動　JミルクHPリンク先↓↓

「牛乳でスマイルプロジェクト」ポータルサイト　https://smile.j-milk.jp/

【牛乳類の販売速報】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(11/9週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：99.9%、成分調整牛乳：88.4%、加工乳：84.2%、乳飲料：95.1%。

牛乳類トータルでは同98.2%

参考：2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳類トータルの販売個数は86.6%。

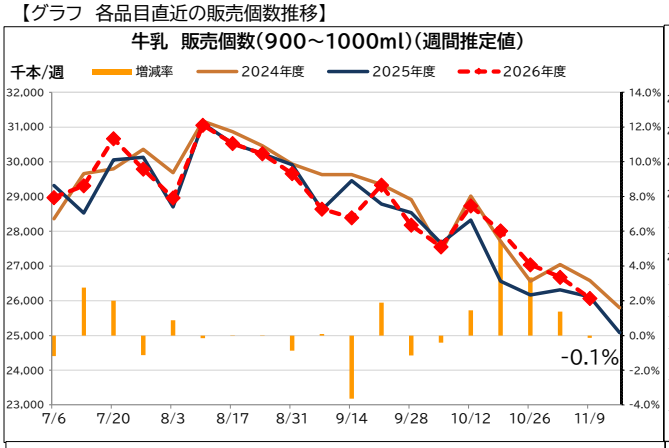
※出典　㈱インテージSRI＋週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

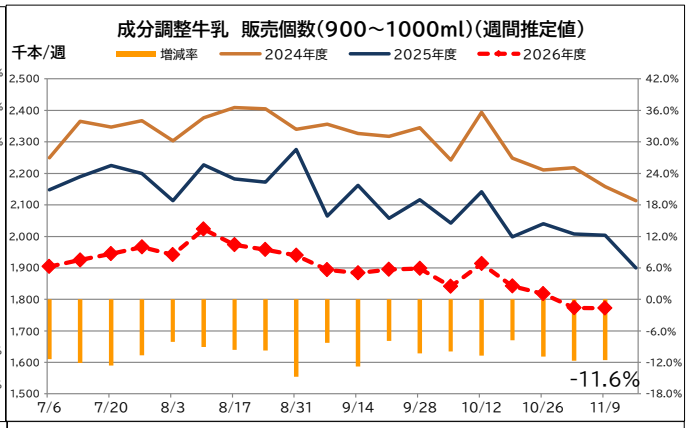
※「2026年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業　独立行政法人農畜産業振興機構　後援」

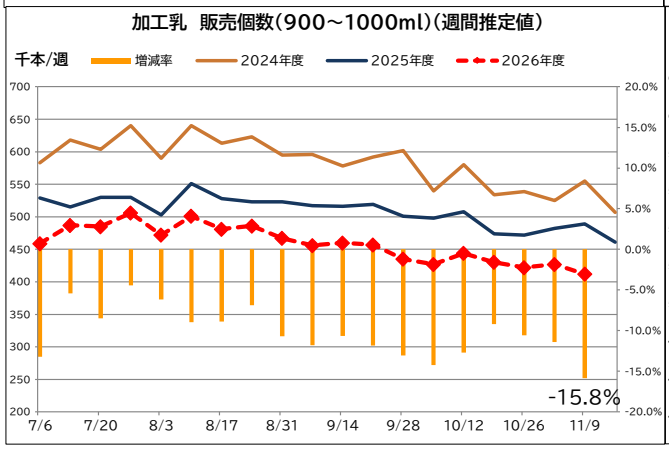
【表①　直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績　(単位：千個、円)

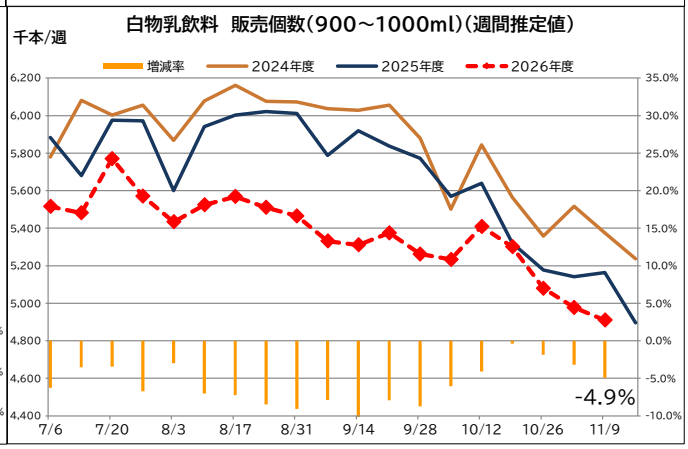
品目	区分	9.21-	9.28-	10.5-	10.12-	10.19-	10.26-	11.2-	11.9-	26.11.9-22.10.24 価格差	26.11.9-23.3.20 価格差	26.11.9-23.7.24 価格差	26.11.9-25.7.21 価格差
トータル	販売個数	37,059	35,772	35,049	36,498	35,585	34,360	33,857	33,166				
	販売個数前年比	99.6	96.9	98.0	99.7	103.6	101.5	99.7	98.2	41.3	26.4	24.0	8.0
	販売単価	224.9	224.6	225.0	225.0	224.9	224.9	224.5	224.5				
牛乳	販売個数	29,331	28,176	27,549	28,732	28,012	27,039	26,680	26,072				
	販売個数前年比	101.9	98.8	99.6	101.4	105.4	103.3	101.4	99.9	42.8	26.5	25.3	7.8
	販売単価	233.3	233.1	233.7	233.5	233.4	233.4	233.0	233.1				
成分調整牛乳	販売個数	1,895	1,898	1,841	1,913	1,842	1,818	1,773	1,772				
	販売個数前年比	92.1	89.7	90.1	89.3	92.2	89.1	88.3	88.4	42.3	27.5	22.6	9.4
	販売単価	217.6	215.7	216.4	216.6	217.1	215.8	217.0	215.6				
加工乳	販売個数	457	435	427	444	430	422	427	412				
	販売個数前年比	88.2	86.9	85.7	87.3	90.8	89.4	88.6	84.2	41.3	31.9	22.0	9.7
	販売単価	235.9	236.9	238.2	238.6	239.0	237.8	235.3	235.5				
乳飲料	販売個数	5,375	5,262	5,233	5,409	5,301	5,080	4,977	4,910				
	販売個数前年比	92.1	91.2	93.9	95.9	99.6	98.1	96.8	95.1	30.6	20.7	15.8	6.1
	販売単価	180.8	181.0	181.2	181.6	181.5	181.8	181.1	181.1				

【グラフ 各品目直近の販売個数推移】









【発酵乳の販売速報】

(1)直近の動向(表②参照)
直近(11/9週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90～250ml):前年同期比90%未満、個食タイプ(70～130ml):同90%以上、大容量タイプ(350～500ml):同100%以上(3品目合計販売個数は前年同期比90%以上、合計販売容量は同90%以上)。
(2)前週(11/2週)との実販売個数での比較では、個食タイプは増加した一方、ドリンクタイプと大容量タイプは減少した。
※出典 ㈱インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。**データ転用はご遠慮下さい。**

※「2026年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」

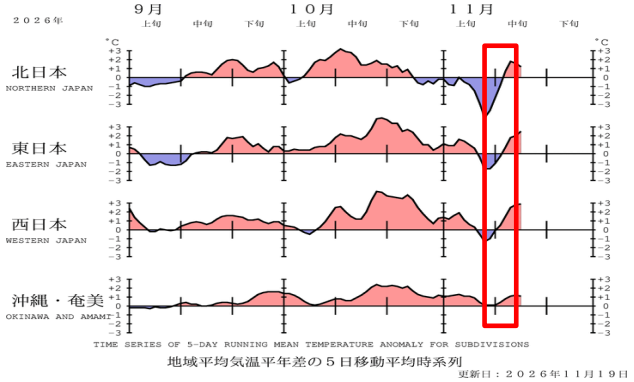
【表②発酵乳の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	9/21-	9/28-	10/5-	10/12-	10/19-	10/26-	11/2-	11/9-
ドリンクタイプ	↘	↘	→	→	↘	↘	↘	↓
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	→	→	↘	↘
大容量タイプ	→	→	↗	↗	↑	↗	↗	→

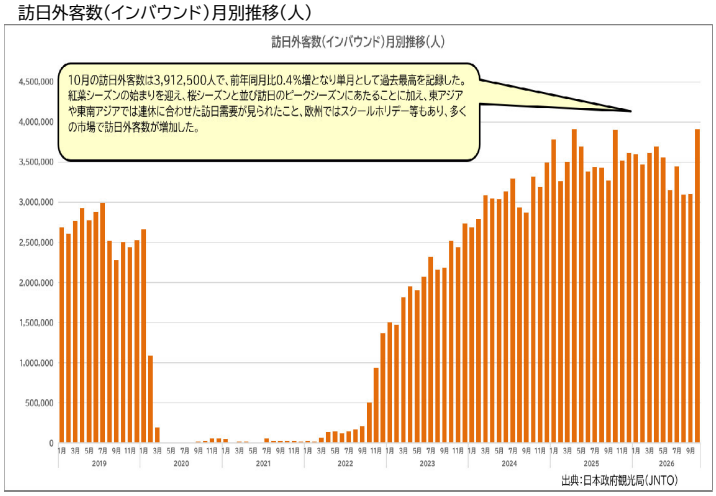
↓ :前年比90%未満
↘ :前年比90%以上100%未満
→ :前年比100%以上105%未満
↗ :前年比105%以上110%未満
↑ :前年比110%以上120%未満
↑ :前年比120%以上

※なお、下地の色が違いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

11/9週の気温経過 出典:気象庁



訪日外客数(インバウンド)月別推移(人)



※「2026年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」